

「報告書」の概要（案）

はじめに

第1章 委員会の設置と委員会活動の基本的な立場

「公共事業の企画立案の根拠となる戦略や将来予測等の検証」と「相生山緑地の道路建設という個別事業の検証」が活動の2つの視点。

後者は「道路建設自体に関わる課題」と「自然生態環境、とりわけ緑地の生物相に及ぼす影響に関する課題」の2点について検証。

課題解決の道筋と根拠の検証であり、道路建設の是非を判断するものでない。

第2章 検証委員会の活動経過と検討事項

1. 活動経過と検討事項の概要
2. 市民からの意見聴取とその取り扱い
3. 「環境に配慮した道づくり専門家会」委員からの意見聴取

第3章 学術的な検証の結果

1. 道路建設等の公共事業の企画立案に求められる学術的な検証
 - (1) これまでの公共事業立案過程についての学術的な検証
従来のような個別計画に基づく特定の分野の調査や分析・評価では市民合意が得られない。個別計画の寄せ集めではない市政全体に関する総合政策（ランドデザイン）が必要。
 - (2) 公共事業の企画立案にあたり検討すべき視点と課題
ランドデザインは、「市民生活の質（QOL）の維持向上」を目標にした5つの評価軸を取り入れ、市独自の総合的な調査研究活動の成果を根拠にして策定すべき。個別事業もこの評価軸によって検討されるべき。
2. 相生山緑地の道路建設事業についての学術的な検証
 - (1) 道路建設に係る問題事項の整理とその解決方策
QOL の維持向上をもたらす5つの評価軸に対する問題事項の抽出と検証結果の整理（検証シート表2～表6を参照）
 - (2) 道路建設に対する学術的な評価
道路建設が市民生活の QOL に及ぼす効果（プラス効果とマイナス効果）の評価およびマイナス効果の軽減策の例示（検証シート表6を参照）

おわりに